

平成 24 年 3 月 11 日 (日) 実施

第 31 回 建設業経理事務士検定試験 3 級 解説

〔第 1 問〕

- (1) 期限が到来した利付社債の利札は現金勘定で処理する。
- (2) 引取運賃も取得原価に算入する。
- (3) 下請業者からの出来高報告書であるから外注費と考えられるが、勘定科目群に外注費勘定がないため、最も適切なのが未成工事支出金である。
- (4) 仮払金を旅費交通費と現金に振り替える。
- (5) 完成工事原価は費用であるから、損益勘定の借方に振り替える。

〔第 2 問〕

- ① No.204 の労務費月初未成工事分を求める。

$$629,700 = (13,000 + 86,300) - 200,400 - 245,900 - 69,600 = 14,500$$
 No.204 の月初未成工事分を合計する

$$18,200 + 14,500 + 7,500 + 6,800 = 47,000$$
- ② 前月より繰り越した工事は No.203 と No.204 である。未成工事支出金の残高は ¥107,300 であるから、No.203 の月初未成工事分は

$$107,300 - 47,000 = 60,300$$
 No.203 の経費月初未成工事分は

$$60,300 - 28,400 - 13,000 - 10,200 = 8,700$$
- ③ 経費の合計額は

$$(8,700 + 42,100) + (6,800 + 70,200) + 98,700 + 31,200 = 257,700$$
- ④ 工事原価の合計額は

$$(60,300 + 447,400) + (47,000 + 655,700) + 837,500 + 343,500 = 2,391,400$$

工事原価計算表

平成×2 年 12 月

	材料費	労務費	外注費	経費	合計	当月末の状況
No.203	28,400	13,000	10,200	8,700	60,300	完成
	198,200	86,300	120,800	42,100	447,400	
No.204	18,200	14,500	7,500	6,800	47,000	完成
	268,900	200,400	116,200	70,200	655,700	
No.205	—	—	—	—	—	完成
	306,500	245,900	186,400	98,700	837,500	
No.206	—	—	—	—	—	未完成
	186,300	69,600	56,400	31,200	343,500	
	1,006,500	629,700	497,500	257,700	2,391,400	

未成工事支出金

前期繰越	107,300	完成工事高	2,047,900
材料費	959,900	次期繰越	343,500
労務費	602,200		
外注費	479,800		
経費	242,200		
	<u>2,391,400</u>		<u>2,391,400</u>

問1 当月発生工事原価は各工事の当月発生分を合計して

$$447,400 + 655,700 + 837,500 + 34,350 = 2,284,100$$

問2 月末未完成の工事は No.206 であり、この工事原価が月末未成工事支出金である。

問3 当月完成した工事は No.203、No.204、No.205 である。これらの経費を合計して

$$(8,700 + 42,100) + (6,800 + 70,200) + 98,700 = 226,500$$

問4 当月完成した工事の工事原価合計は

$$(60,300 + 447,400) + (47,000 + 655,700) + 837,500 = 2,047,900$$

【第3問】

① (借) 現金	100,000	(貸) 当座預金	100,000
② (借) 現金	250,000	(貸) 未成工事受入金	250,000
③ (借) 材料	138,000	(貸) 工事未払金	138,000
④ (借) 当座預金	260,000	(貸) 完成工事未収入金	260,000
⑤ (借) 給料	70,000	(貸) 現金	164,000
労務費	94,000		
⑥ (借) 当座預金	250,000	(貸) 受取手形	250,000
⑦ (借) 材料費	86,000	(貸) 材料	86,000
⑧ (借) 当座預金	98,000	(貸) 借入金	100,000
支払利息	2,000		
⑨ (借) 工事未払金	320,000	(貸) 支払手形	320,000
⑩ (借) 外注費	180,000	(貸) 工事未払金	180,000
⑪ (借) 支払手形	240,000	(貸) 当座預金	240,000
⑫ (借) 経費	17,000	(貸) 現金	17,000
⑬ (借) 未成工事受入金	200,000	(貸) 完成工事高	500,000
完成工事未収入金	300,000		

※以下の略式の元帳は3月中の取引のみを記載

現 金			
① 当座預金	100,000	⑤ 諸 口	164,000
② 未成工事受入金	250,000	⑫ 経 費	17,000
当 座 預 金			
④ 完成工事未収入金	260,000	① 現 金	100,000
⑥ 受取手形	250,000	⑪ 支払手形	240,000
⑧ 借入金	98,000		
受 取 手 形			
		⑥ 当座預金	250,000
完成工事未収入金			
⑬ 完成工事高	300,000	④ 当座預金	260,000
材 料			
③ 工事未払金	138,000	⑦ 材料費	86,000
機 械 装 置			
備 品			
支 払 手 形			
⑪ 当座預金	240,000	⑨ 工事未払金	320,000
工 事 未 払 金			
⑨ 支払手形	320,000	③ 材 料	138,000
		⑩ 外 注 費	180,000
借 入 金			
		⑧ 諸 口	100,000
未成工事受入金			
⑬ 完成工事高	200,000	② 現 金	250,000
資 本 金			

完 成 工 事 高			
		⑬ 諸 口	500,000
材 料 費			
⑦ 材 料	86,000		
労 務 費			
⑤ 現 金	94,000		
外 注 費			
⑩ 工事未払金	180,000		
経 費			
⑫ 現 金	17,000		
給 料			
⑤ 現 金	70,000		
雑 収 入			
支 払 利 息			
⑧ 借入金	2,000		

〔第4問〕

- (1) 完成工事未収入金の回収見込額＝完成工事未収入金－貸倒引当金
- (2) 大陸式決算法…損益勘定と残高勘定の2つが集合勘定として設定される
英米式決算法…損益勘定のみが設定される。
- (3) 消費単価の決定方法には先入先出法、移動平均法などがある。

〔第5問〕

(1) 貸倒引当金

受取手形と完成工事未収入金の残高は $\text{¥}359,600 + \text{¥}800,400 = \text{¥}1,160,000$

$$\text{¥}1,160,000 \times 2\% = \text{¥}23,200$$

差額補充法で処理するので繰入額は $\text{¥}23,200 - \text{¥}16,800 = \text{¥}6,400$

(借) 貸倒引当金繰入額	6,400	(貸) 貸倒引当金	6,400
--------------	-------	-----------	-------

(2) 有価証券の評価

帳簿価額は $\text{¥}364,700$ なので、評価損は $\text{¥}364,700 - \text{¥}356,200 = \text{¥}8,500$ である。

(借) 有価証券評価損	8,500	(貸) 有価証券	8,500
-------------	-------	----------	-------

(3) 減価償却

工事用機械装置の減価償却費は工事原価であるので、経費として処理する。

一般管理用備品は減価償却費として処理する。

(借) 経費	32,000	(貸) 機械装置原価償却累計額	32,000
減価償却費	14,000	備品減価償却累計額	14,000

(4) 費用の見越し計上

(借) 支払利息	2,600	(貸) 未払利息	2,600
----------	-------	----------	-------

(5) 工事原価を未成工事支出金へ振り替える。

※決算整理事項(3)の経費も含めることに注意

(借) 未成工事支出金	2,111,000	(貸) 材料費	824,000
		労務費	518,000
		外注費	425,000
		経費	344,000

未成工事支出金のうち当期完成分を完成工事原価に振り替える。

未成工事支出金の時期繰越額は $\text{¥}145,600$ なので、完成工事原価は

$$\text{¥}278,000 + \text{¥}2,111,000 - \text{¥}145,600 = \text{¥}2,243,400$$

(借) 完成工事原価	2,243,400	(貸) 未成工事支出金	2,243,400
------------	-----------	-------------	-----------

未成工事支出金

前期繰越	278,000	完成工事原価	2,243,400
当期発生	2,111,000	次期繰越	145,600